

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	bee. for kids			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 18日 ～ 2025年 3月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数)	30
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2025年 4月 1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性に応じた専門性のある支援	週 1 回の個別療育	2025年度より、新たに「小集団療育」をスタートさせます。これは、今まで行ってきた「個別療育」の成果が、園などの集団でも発揮できるようにするためのスモールステップです。
2	ゆとりのある人員配置	国が示している人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置	配属されている支援員は送迎には出ず、別途送迎専門のスタッフがおり、送迎添乗スタッフは送迎以外の時間には支援に加わるため、非常に手厚い支援が実現できます。
3	徹底した職員の資質の向上	職員は、言語聴覚士が複数名在籍しているほか、作業療法士、教諭など、こどもの専門家で構成されています。	さらなる職員の資質の向上を図るために、外部の研修を受講する機会だけでなく、法人内においてもDVDによる研修やOJTなど、勉強できる機会の確保に努めております。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会	午前中含め、すべての時間帯にお子様への支援・保護者様面談・職員会議等が入っているため、場所・時間の確保が難しいと考えております。	個別面談の充実を図り、そこで個別対応で保護者様の悩みを聞いたり、その悩みを解決するための情報を提供したりできるようにし、これを当事業所における家族支援とさせていただきたいと考えております。
2	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会	午前中含め、すべての時間帯にお子様への支援・保護者様面談・職員会議等が入っているため、センターへ出向く機会あるいは来ていただく機会の確保が難しいと考えております。	センター経由で来られたお子様に関しましては、書類や保護者様からのお話だけではなく、保護者様に許可をいただいた上で、電話でセンターに直接お話を伺うことで連携を図り、ご助言をいただく機会とさせていただきたいと考えております。
3	お子様ご所属の幼稚園・保育園との交流	午前中含め、すべての時間帯にお子様への支援・保護者様面談・職員会議等が入っているため、すべてのお子様のご所属園との交流となりますと、園へ出向く機会あるいは来ていただく機会の確保が難しいと考えております。	サービス担当者会議に今まで以上に積極的に参加させていただくとともに、セルフプランのお子様に関しましては、保護者様の許可をいただいた上で、ご所属園のご都合の良い時間帯に電話をさせていただき、連携と情報の共有から始めたいと考えております。

公表 者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 bee.for kids

公表日 2025年 4月 11日

利用児童数 52

回収数 30

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	3	0	1		活動内容に応じてパーティションでエリアを区切るなど、構造化の工夫を行なっています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	1	0	5		必要な人員配置を行なっております。職員研修を引き続き行い、今後も専門性の維持向上に努めて参ります。また、次回の利用を楽しみにできるよう引き続き丁寧な声掛けを行なっています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	0	0	2		お子様や保護者様が安全に事業所をご利用できるよう必要に応じてサポートいたしますので遠慮なくお声がけくださいませ。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	1	0	2		個別療育は完全個室での実施のため、活動の切り替えがしやすい環境となっております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	1	0	2	以前よりも専門性が高まったように感じる。	今後も、専門性の維持向上に努めて参ります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	3	0	2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	0	0	2		お子様一人ひとりに応じた個別支援計画を作成しその内容に沿って日々支援させていただいてます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	2	0	2		お子様の状況や保護者のニーズを把握して、お子様一人ひとりに応じた個別支援計画を作成しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	2	0	0	見えていないかもしれませんが、プログラムが計画のどの項目と関連しているのかわからない。	プログラムと支援計画の関連について、モニタリング時の保護者面談にて、今までより時間を取って詳しくご説明するなど、より分かりやすくお伝えできる方法を工夫してまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	2	0	4		発達段階や季節などに応じたプログラムを実施しています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	4	4	16		当事業所では交流の機会を設けておりませんでした。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	2	0	1		解しやすいよう丁寧な説明を心がけていきます
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	2	1	1		モニタリングなどにより発達状況や保護者ニーズを踏まえて支援計画を見直すと共に、支援の目標や内容などの共有化を図ります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2	4	15		状況をみながら今後検討していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	26	1	0	3		送迎を担当している支援員と、その日お子様と関わった支援員が異なることもあり、様子をお伝えすることが難しい場合もあります。そのため、連絡帳を通してその日の活動の様子をお伝えさせていただいております。また、直接お伝えした方がよいと判断した事柄に関しては、お電話でその都度お伝えさせていただいております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	5	2	4	その都度、確認したいことは連絡ノートを使っていますが、別日で担当の方とゆっくり支援等について話す機会があれば、より安心します。	面談については個別支援計画の見直し時期にご提案するとともに保護者様から要望があれば随時対応させていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	2	0	0	一部の先生のみ支援をされていると感じる。全体的には感じない。	基本的に担当(同じ職員)が対応させて頂く形になっております。担当が他児対応中の場合の連携体制の強化、接遇研修などより一層のサービスに努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	4	9	16		状況をみながら今後検討してまいります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	1	1	3		今後とも相談には丁寧かつ迅速な対応に努めて参ります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	5	0	2		送迎時や連絡帳で、活動の様子や家庭・園での様子等、情報の交換をさせていただいています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25	1	1	3		SNS（ブログ、Instagram）で、活動の様子を随時発信させていただいております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	0	6		日頃より取り扱いについては十分配慮を行っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	2	0	9		年間計画に基づいて避難訓練を行って参ります。また、不審者等を想定した訓練も実施予定です。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	4	0	15		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	4	0	6		関目東小学校に避難いたします。避難方法や避難経路についても、従業員に教育しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	3	0	5	些細な事も教えてくださって安心できます。	今後とも保護者様との連携を大切に、誠実な対応に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	0	0	0		お子様が楽しく事業所に通えるよう、また、保護者様も安心してお子様を送り出せるよう今後もプログラム内容や支援方法を工夫して参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1	1	1		

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名 bee. for kids

公表日 2025年 4月 11日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		活動内容に応じて、パーティションでエリアを区切るなど、構造化の工夫を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		国が示している人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っております。また、保育士、小学校教諭、言語聴覚士など児童分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置に努めています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		個別療育は完全個室での実施のため、活動の切り替えがしやすい環境となっています。	実施予定の活動表や、使用可能な教材、玩具などを可視化し、お子様が見通しを立て易い環境設定を行っております。バリアフリー化に関しては、建物の構造上、可能な限り努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		毎日、清掃・消毒を行っております。プレイルームでは常時空気清浄機を設置しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		パーティション区切ったエリアや空き部屋を利用できるように工夫しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		事業所としての目標を設定し、より良い支援を提供できるよう努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		連絡帳を用いて保護者様等の要望・意向を把握し、支援に活かしております。	保護者向け評価表を活用し、保護者の方の意向の把握に努めて参ります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		月に一度、個別面談を実施しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	3		現在、第三者による外部評価は実施していません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	3		実施・オンライン研修を中心に、各職員が自己研鑽に努めております。また、研修で学んだ内容は他職員にも周知し、職員全体の資質向上に努めています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		お子様一人ひとりに応じた個別支援計画を作成しその内容に沿って日々支援させていただいています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		個別支援計画作成のためのケース会議を実施し、職員間で情報を共有しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		個別支援計画作成のためのケース会議の中で決めた支援を実施しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		見学・体験時の保護者面談にて、当事業所規定のアセスメントシートを活用し、お子様の課題や特性、保護者のニーズ等のアセスメントを行っています。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		ガイドラインに基づいた支援を実施しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		全職員でアイデアを出し合い、プログラムを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		発達段階や季節などに応じたプログラムを実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3		個別と集団とで活動に関連を持たせ、一貫性のある支援を実施しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		朝礼にて毎日実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		終礼にて毎日実施しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		活動記録は、活字だけでなく、写真や動画も活用し、実際のリアルな様子も記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		定期的なモニタリングを実施しております。利用初期のお子様に対しては2～3ヶ月を目安に初回のモニタリングを実施しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		担当支援員が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		保護者様からニーズがあった場合、必要に応じて、情報共有を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		就学前に面談を行い、保護者様に学校にお伝えいただきたい内容を共有しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		3		必要に応じて今後実施させていただきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		3		交流の機会は設けるよう図って参ります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		送迎時や連絡帳を通してお子様の状況をお伝えしております。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3			家族支援プログラムに関しては今後、企画を検討して参ります。
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		利用契約時に説明を行っております。また、不明点があれば随時ご説明するようにしております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		面談やニーズアンケートを通して、ご意向の把握を行なっています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3		概ね半年に一度個別支援計画を見直し、保護者様から同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		お迎え時や面談の際に対応させていただいております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3		今後検討して参ります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		相談受付窓口について、利用契約時にご説明させていただいております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		SNS（ブログ、Instagram）にて、活動の様子を随時発信しております	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		個人情報が記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		様々なツールを活用しながら、分かりやすい伝達方法を工夫しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3		今後検討して参ります。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			マニュアルは策定していますが保護者への周知が不十分のため、情報発信を強化して参ります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		年間計画に基づいて避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		利用契約時のアセスメントにおいて確認しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		利用契約時のアセスメントにおいて確認しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		年間計画に基づいて避難訓練を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3			マニュアルは策定していますが保護者への周知が不十分のため、情報発信を強化して参ります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		ヒヤリハットが発生した際はその都度事例を記録しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		虐待防止委員会を設置し、定期的な職員研修を実施しています。	

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		現在、身体拘束が必要なお子様の在籍がないため、記載しておりません。身体拘束に関しては、お子様の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員の共通認識としております。
--	----	--	---	--	--